

授業科目

精神看護学演習

担当教員名 金谷 光子、西川 薫	対象学年	1・2	対象学科	健康科学（看護学分野）
	開講時期	後期（1学年）・前期（2学年）	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

授業の概要

精神看護学特論で学んだ基礎理論を基に精神状態のアセスメント、および個と個、個と集団における関係について演習を通して学習し、看護介入の基本となるアセスメント技術及び対人関係的技術を修得する。同時に他者理解と自己理解を深める。また、精神看護における様々な教育治療的介入方法について演習を通して学習し、同時に様々な事例を通して予防や対処等を学び、新しい援助方法の可能性を探る。さらに当事者運動の歴史や動向について文献・研究・手記を通して学び、当事者が望む看護援助のあり方について洞察する。

授業の目的

基礎理論を基に精神状態のアセスメント、および個と個、個と集団における関係について演習を通して学習し、看護介入の基本となるアセスメント技術及び対人関係的技術などを修得する。

学習目標

1. 様々な理論を用いて精神状態のアセスメントが出来る。
2. 個と個および集団と個の対人関係成立の特徴について述べる事が出来る。
3. 精神看護における教育治療的介入技法が実践できる
4. 身体合併症・自殺予防・衝動行為への対処・急性及びリハビリテーション精神看護等の演習を通して、新しい援助方法について述べる事が出来る。
5. 子どもの精神障害の特徴と現代の動向について説明し、今後の課題について展望することが出来る。
6. 精神障害者を取り巻く触法問題について司法精神看護の視点から展望することが出来る。
7. 病を持つことの苦悩や死への不安、医療スタッフ間の葛藤等に精神看護の活用の意義を説明し、その援用について展望できる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	精神状態のアセスメント	一部講義・発表	金谷 光子、西川 薫
2	精神状態のアセスメント	発表・ディスカッション	金谷 光子、西川 薫
3	精神状態のアセスメント	発表	西川 薫
4	精神状態のアセスメント	発表・ディスカッション	西川 薫
5	精神状態のアセスメント	発表・ディスカッション	金谷 光子、西川 薫
6	対人関係の技法	一部講義・発表	西川 薫
7	対人関係の技法	演習・ディスカッション	西川 薫
8	対人関係の技法	演習・ディスカッション	西川 薫、金谷 光子
9	集団精神療法	一部講義・演習	西川 薫、金谷 光子
10	集団精神療法	演習・ディスカッション	西川 薫、金谷 光子
11	子どもの精神障害	一部講義・ディスカッション	金谷 光子、西川 薫
12	子どもの精神障害	発表	金谷 光子
13	子どもの精神障害	発表	金谷 光子
14	急性期・リハビリテーション精神看護	一部講義・発表	西川 薫
15	急性期・リハビリテーション精神看護	発表	西川 薫
16	うつ病の認知行動療法	演習	西川 薫
17	うつ病の認知行動療法	演習	金谷 光子、西川 薫
18	自殺と看護	一部講義・発表	金谷 光子
19	自殺と看護	発表	金谷 光子、西川 薫
20	依存症と看護	発表	金谷 光子、西川 薫
21	薬物療法と看護	発表	金谷 光子、西川 薫
22	心理教育－患者	演習	西川 薫
23	心理教育－家族	演習	西川 薫
24	セルフヘルプグループ	発表	西川 薫

25	患者会活動・当事者運動	発表	西川 薫
26	司法精神看護	一部講義・ディスカッション	金谷 光子、西川 薫
27	身体合併症看護	発表	金谷 光子、西川 薫
28	衝動行為への対処	演習	西川 薫
29	リエゾン精神看護	一部講義・ディスカッション	金谷 光子、西川 薫
30	リエゾン精神看護	発表・ディスカッション	金谷 光子、西川 薫

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	方法としての面接	土居健郎	医学書院	1977年		
	新臨床看護体系 精神看護学I	GW, スチュワート他	医学書院	1986年		
	精神療法面接のコツ	神田橋條治	岩崎学術出版	1990年		
その他の資料						

評価方法

発表の順状態および内容、積極的な参加を通して評価をする。

履修上の留意点

積極的な参加を求む。

オフィスアワー・連絡先

西川：オフィスアワー：木曜日の午前 連絡先：nisikawa@nuhw.ac.jp K402研究室

金谷：オフィスアワー：火曜日3時限目および18時以降 連絡先：kanaya@nuhw.ac.jp K402研究室